



第 579 号

しらさぎ

令和 8 年 6 月 30 日
横浜市立公田小学校

50 周年記念運動会 ～子どもたちの確かな成長へ～

校長 中川 浩二

5 月 30 日の創立 50 周年記念運動会において、皆様から子どもたちへ温かい応援と拍手をいただき、ありがとうございました。

今回は、**児童全員が誰一人欠席することなく参加することができました**。一人一人の熱い思いが全身の動きや表情に満ちあふれ、地域の方からも「子どもたちの姿に感動して涙が出そうになった」との声をいただき、胸が熱くなる思いです。

運動会は体力を高めるだけでなく、豊かな心を育てる場でもあります。文部科学省が示す「学校行事を通して目指すもの」の 3 つの視点から、今回の成果を振り返ります。

学校行事の 3 つの視点から見える「今回の成果」

① 人間関係の形成（共に作り上げる喜び）

一つの演技や競技を作り上げる練習の中で、助け合い、周りを見て呼吸を合わせ、励まし合う姿がたくさん見られました。この経験は、子どもたちの大きな成功体験へとつながりました。

② 所属感や連帯感を深める（学校全体の一体感）

子どもたちはもちろん、保護者の皆様、そして教職員もが「**チーム公田小**」として一つになり、心地よい一体感を共有することができました。

③ 協力してよりよい学校を築こうとする態度（リーダーシップ）

5・6 年生の係活動やブロック演技、そして 50 周年記念のメッセージには、「先輩たちの後を引き継ぐ思い」が詰まっていました。最高学年である 6 年生にとっては、「**学校をよりよくしていこう**」という確かな意識の芽生え（振り返り）が見られました。

「じわじわと効いてくる」これからの成長

これらの力は、当日の一日だけで完結するものではありません。運動会での経験は、「後になってじわじわと効いてくる」ことこそが大切です。学年ごとの発達段階に応じた目標を体感することで、子どもたちは確実に変化し、成長していきます。

次の大きな行事は、12 月の「50 周年記念音楽会」です。ひと回り大きくなった子どもたちの姿が見られることを、今から心待ちにしています。